社会福祉法人
大念仏寺
社会事業団

★ボ・ドーム大念仏
★いちょう保育園
★大念仏乳児院
★いちょうベビーセンター
★ひらのドリーム園

季刊誌 つぼみ
9月から12月

第２号
平成21年（2009）６月１日
発行所　社会福祉法人
大念仏寺社会事業団
発行人　理事長　杉田善久
編集協力
藤森雄介　淑徳大学
国際コミュニケーション学部
渡邊義昭　淑徳大学　総合福祉学部

自己紹介します

大念仏乳児院

私たちのあゆみ

＊1967年（S42）７月１日
「大念仏乳児預かり所」設立　定員９名
＊1971年（S46）12月１日
「大念仏乳児院」に名称変更　定員20名
＊2005年（H17）６月４日
建物老朽化に伴い
H15年・16年度大阪市の助成金を得て
H16年着工
H17年６月新舎に移転
大念仏寺社会事業団の建物３階フロアー
定員25名に増員

乳児院とは

＊お父さん、お母さん、家族が病気の時
＊経済的理由で働かなければいけない時
＊父子家庭の為、子どもの世話をする人がいない時
＊次子出産の為、上のお子様を世話する人がいない時

などでお子さんを育てる事が出来ず、困った事はありませんか？
乳児院はこんな時に安心して利用できる公的な施設です。
保護者の方と職員が一緒になって、心身ともに元気な子どもに育つように保育しています。
毎日の生活の中で、食事・排泄等の基本的生活習慣の自立が身につくようにしています。四季折々の遊びや院外保育、運動会、クリスマス会などの行事を子ども達と共に楽しみます。

「巻頭言」人間尊重の立場に立って

大念仏寺
総務部長　吉村　暁英　師

思えば、混乱の戦後の貧困と生活に追われた昭和31年のこの頃、宗門の先輩方は、何ひとつ満足な物もない中で、子供たちの幸せを願い、社会福祉法人の設立に奔走されました。
当時、大念仏寺は、檀家の方々の生活の安定を願い、寺の門前に、「大念仏乳児預かり所」を開設されました。
それから半世紀余りを経て、世の中は、大きく変貌しました。
しかし、寺の献身的な母親の愛情は、今日まで、変わることなく、社会福祉法人「大念仏乳児院」に引き継がれています。
この間、多くの人々の協力を頂き、乳児院は、社会の変遷に応じて、その役割を果たしてきました。
この度、乳児院は、新しい建物に移転し、新たな出発をすることになりました。
これも、ひとえに、関係者の皆様方のご厚情の賜物であります。
乳児院は、人間尊重の立場に立って、人格を尊重し、愛情を与え、喜びを生きる心を育てる事を使命とします。
また、乳児院は、地域の人々の福祉の増進に貢献する事を目的とします。
乳児院は、子育て支援センターとして、地域の子育て家庭の悩みを解決する為、相談・育児講習・情報提供・一時預かり・子育てサークル・ショートステイ・トワイライトステイ・ファミリーサポートセンター・子育てサロン・子育てフォーラム・ボランティア・ネットワーク・地域の福祉・教育・文化・スポーツ・レクリエーション